

ゆりかご 2024.12.1

園だより

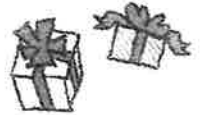


3期(10~12月)のねらい
手を使ってつくりだす活動を中心に
園生活を豊かにしよう

ゆりかご保育園には、ゆりかご保育園の一部の人にはわからない謎のこぼれがあります。**か**と**こ**と**く**と**ひ**もそのひとつです。ぞう組の子から初めて聞いた時は、何のことかさ、ぱりわかりませんでした。Iちゃんが教えてくれたことによると、3階ホールでお仕事として布田敷を始めた時に、**か**ーテンを開める役割

「**こ**んきを消す役割」「**く**ーアを開める役割」を皆がしたくてもめることが多く、「今日はOOちゃん明日はOOちゃん」と順番を決めたそうです。その話を聞いて「そんなに皆がやりたいことなら先生もやってみたいなあ」と言う。「あのね、おしごとには長い針が6まで(12=30)に終わらせなきゃならないの。私たちが遅くなると、6を過ぎたら先生がやてもいいよ」と言ってくれました。それから子どもたち対私の**か**と**こ**と**く**の勝負がはじまりました。Sちゃんが早速「**か**と**こ**と**く**と**ひ**」始めるよ」と誘いに来てくれましたが、あれ、?**ひ**が増えている…。Sちゃんにきくと、「**ひ**は避難袋没収の**ひ**」なのだそうです。役割だけでなくいつの間にかパネルティも増えました。それから毎日、布田敷のお仕事を担った子たちと私の間で「今日は子どもたちの勝ち!」とやり取りが続きました。子どもたちが「お仕事やれた!」と達成感を味わってほしいと思い、勝負がわかりやすいようにカードに勝った方がシールを貼るようにはしてみました。というのも今年のぞう組の子どもたちは、他のチームにあまり関心を示さなかったため、他のチームの刺激を受け、クラスとして意識できたらと思、て始めたことです。

今ではシールが力みになり布田敷のイ仕事に意欲を見せ、(時々集中が途切れますが…) **か**と**こ**と**く**と**ひ**のカードがなくても「仕事としてがんばってくれています。



そして、もう一つの謎のこぼれは「スーハー」

10月のぞう組のお泊まり会前後に園舎のあちこちに貼られていた「スーハー」と書かれた文字。見学にいらした方も「このスーハーって何ですか?」と不思議そうでした。

きっかけは、ぞう組の子たちがあまりにも頻繁にケンカをするので、S保育士が「ケンカになりそうになったら一度「スーハー」で深呼吸をしてごらん」と言ったことです。取っ組み合いのケンカが始まった時、すぐ思い出せるようにと、Sちゃんが「スーハー」と書いた紙を貼ってくれたのです。この紙はお泊まり会が終わってからもしばらく貼られていました。

今年のぞう組の子どもたちはもめ事も多いですが、そこから皆で考え、方向を見い出す力も育っています。何より謎のこぼれが子どもにとっては謎ではない、ぞう組ならではのこぼれになっているのです。5日(木)の夕方、3階ホールにぞう組の水族館ができます。**か**と**こ**と**く**と**ひ**のカードや「スーハー」の紙がなくても、役割を担って、お客になった大人や子どもを楽しませてくれることでしょう。多くのケンカはありそうですが…。広い心とあそび心 ご持参でお越しください。